



4度目のこんにちは。地域連携担当の石山です。寒い日々が続いています。が、私からは心がポツと温かくなるような話題をひとつ。

昨年12月7日、県立広島大学で「広島県学生地域連携活動発表会」が開催されました。第3回となる当発表会には、県内外の大学・短大・高専から20校の学生が集結！それぞれが直面した地域課題の解決に向けて、新しい視点や柔軟な発想で取り組んできた成果を発表しました。

初参加の本学からは、先月号に登場した都市経営学部4年生の佐藤俊介さんが「伝統産業を伝えるBar」と題して、保命酒を広める地域活動について発表しました。続くポスターセッションでは、



保命酒の存在や佐藤さんの活動内容に興味を持ってくださった方から次々と声をいただき、新たなつながりが生まれそうな予感…。

他校の取組事例では、「地元の観光促進のため寝泊まりできるレンタカーを設計・製作」「地域の役員負担軽減のため回覧板に代わるアプリを開発」

「市内で開催される国際映画祭の企画・広報・運営等を一手に担う」等：興味深いものが続々と。なかにはクラウドファンディングで活動資金を募ったり、起業して株式会社化している学生さんも！近頃の若いもんは…、その行動力たるや！です。聴講した私たち職員も背中をぐいぐい押される気分でした。

どうですか？みなさんの心にも、何かしら灯るものがありましたか。温かいうちに、小さくてもいいからまずは一歩、行動に移してみませんか。

●地域連携セミナーレポート

はじめまして。事務局総務課で地域連携を担当している今井です。私からは、昨年11月末に本学小松安弘記念館で開催された地域連携セミナー「Fukuyama City University IDEA PITCH vol.3」について紹介します。みなさん、PITCH（ピッチ）ってご存じですか？ピッチとは短いプレゼンテーションのことで、本学のアイデアピッチは今回で3回目を迎えました。本学教職員をはじめ、地元企業の方にもパネリストとして登壇を依頼し、各活動の今後の展開や事業化等に関するアドバイスをお願いしました。



写真：西谷天

（私もパネリストとして参加しました！）。今回発表してくれたのは、5組の学生。活動をお揃いのTシャツで登場したり、ステージ・ジョブ・ジョブズながらのプレゼンがあつたりと、工夫を凝らした発表に会場も盛り上がりました！

その中で印象に残ったエピソードがあります。それは、活動を通じてつながった人がまた次の人をつないでくれることで活動の幅が広がり、発展しているというものでした。今回は約50人の来場がありました。まずは学生たちの活動を知っていただき、そして応援していただければうれしいなと思いました。



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY
福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

【問い合わせ先】
福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シリーズ集